

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(5月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長

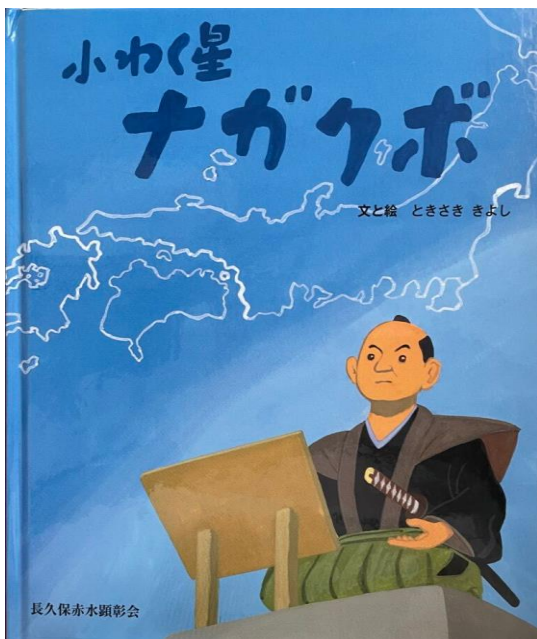


『小わく星 ナガクボ』

ときさき きよし 文・絵/長久保赤水顕彰会 編集・発行

茨城新聞社 制作/渡部潤一(自然科学研究機構国立天文台) 帯挨拶

対象:小学生から高齢者まで



内容のご紹介

高萩市長の大部さんが令和3年に来町した時に「長久保赤水」のお話をしました。

初めて聞く名前でも、高萩市出身の300年前の江戸時代に日本全国の地図を製作した人物です。

伊能忠敬は、日本全国を測量し、日本全国地図を完成したのが、約200年前です。奈良時代には、国土をおおまかに描かれた日本地図があったそうです。

この絵本から、人類は大宇宙から学び、大自然から学んで現在の時代があることを知ります。天文学の大切さや奥の深さが解る絵本です。

作者は、絵本コンクールでお馴染みの高萩市の時崎清さんです。

夜空の星を見て下さい。何かのきっかけができると思います。

長久保赤水(現在:茨城県高萩市出身)は、今から300年以上前の江戸時代に儒学者で地理学者でもあり、経線と緯線の入った日本地図を始めて製作しました。また、天文学を学び緯度経度の概念をもち、地図に書き入れた先駆的業績などを紹介しています。なぜ、小惑星に「ナガクボ」と名づけられたのか?お子さまにわかりやすく描かれています。(紹介文:長久保赤水顕彰会)

文・絵の「ときさききよしさん」は、もったいない図書館「手づくり絵本コンクール」に作品を応募され、入賞作も多く第13回(2020年)コンクールにおいては、あべ弘士特別奨励賞を受賞しています。今回、2023年3月絵本の発行と同時に寄贈をいただきました。(矢祭もったいない図書)